

No.1706

第1707 回例会

2016年2月26日(金) 12:30～13:30
点鐘

ロータリーソング“四つのテスト”

会食(洋食)

会長会務

*ビジター紹介。

*鳥取北RC創立55周年記念式典に幹事と共に出席してまいりました。白駒先生の講演で始まり、記念式典、記念撮影、祝賀会まで計6時間にわたり、佐藤芳郎ガバナーはじめ高知北RC、岩美町長、第1グループRC会長幹事他来賓を迎えて盛大に開催されました。

幹事報告

*合同例会に伴う例会変更のお知らせ。

鳥取中央 3月 7日(月)
鳥取北 3月 8日(火) 3月9日(水)
智頭 3月 9日(水) 18:30～へ
鳥取 3月17日(木)

ビジターの受付は定時定例会場にて

*3月の主なスケジュール

3月 4日(金) 定例理事会
3月 9日(水) 東部5RC合同例会
3月11日(金) 9日と振替・休会
3月12-13日 PETS(米子)
3月18日(金) クラブ奉仕委員長会議

委員会報告

*親睦・出席委員会

出席率・スマイル報告

*その他

卓話「若桜宿あれこれ」

会員 米花廉友さん

先週(第1706 回例会)の記録

2016年2月19日(金) 12:30～13:30
会長会務

本日は会務に続いて私の卓話という事で、鳥取県観光白書&鳥取砂丘写真集をご案内させていただきます。弊社で研修や勉強していること、県や市報に写真が載っている鳥取砂丘撮影第一人者である太田憲治氏の写真紹介も含めて卓話とします。

先日ご案内のありました家族レクリエーションにおいて、小林若桜町長に第2回目の花苗寄贈を予定しています。また同日、職業奉仕賞の授与も行いたいと思っておりましたが、可能であれば別の日に設定をお願いしたいとのことなので、また打ち合わせをしていきます。そして事後承諾で申し訳ありませんが、地区補助金プロジェクトの花苗寄贈(2回目)の予算5万円はレクリエーション費用の中に加えさせていただきますので、ご了承宜しく願います。

2月14日、次期ガバナー補佐会が米子でありました。田中次期ガバナー補佐には御多忙のところをお疲れ様でした。

2月20日は午後3時よりホテルモナークにて、鳥取北RC創立55周年記念式典に幹事と共に参加してきたいと思います。

この後は5RC合同例会、IDM、第1・第2グループ合同IM等の行事が多々あります。会員の皆様には宜しくお願い致します。

幹事報告

*4月16日(土)開催の第1・第2グループ合同IMの登録料8,000円を次週例会より、集めさせていただきます。

出席率

2月19日 会員46名 欠席 9名 80,43%
2月 5日 メーキャップ会員 4名 78,26%

メーキャップ会員

2月14日 田中章夫会員 次期ガバナー補佐会(米子)へ

スマイル

- * 金田卓也会員／本日、卓話をします。宜しくお願ひします。
- * 森下哲也会員／ようやく“雨水”となりました。
- * 田中章夫会員／①初めて年金をもらいました。ウレシイものですね。②第2回目の次期ガバナ―補佐会に出席してきました。いよいよ来月から始動です。逃げたい心境です。
- * 吉田 博会員／山田さん、今朝の新聞見ました。なかなかいそがしくなりそうですね！！
- * 米花廉友会員／3月は出席率100%例会を 実行致しますので、皆様宜しくお願ひ致します。
- * 山下聖児員／インフル、胃腸炎、花粉症の時期、体調管理をしましょう。
- * 山田 正会員／鳥取ガスがガイナ―レの スポンサーを受けましたので。
- * 金本勝彦会員／誕生祝い。
- * 遅刻・早退3件。 合計16,000円
- * R財団特別寄付：1件

1DM日程表（時間はいずれも18：30）――

- 1班 3月16日（水）ジャパ―ズ
- 2班 3月15日（火）たき乃蔵
- 3班 3月 4日（金）ジャパ―ズ
- 4班 3月11日（金）ジャパ―ズ
- 5班 未定

卓話「鳥取における観光白書&

鳥取砂丘写真集」――

会員 金田卓也さん

私は社内に観光高等学校を設けて、観光マイスターを中心に定期的に座学を開いております。2ヵ月に1回開催しており、座長が草分けの男性バスガイドで長く鳥取市観光協会に勤められた廣澤孝彦氏です。私が校長で、外部講師をお迎えして研修を重ねております。

鳥取市は鳥取砂丘を始めとする山陰海岸ジオパーク、砂の美術館などの知名度ある観光資源を活用した魅力ある観光地づくりをされています。その中での取組みが以下の通りです。

- ①山陰海岸ジオパークの特性を活かした推進事業
- ②「砂像のまち鳥取市」に向けた取組み
- ③鳥取砂丘の景観保全
- ④地域の観光資源の磨き上げと掘り起こし
- ⑤滞在型観光の促進
- ⑥おもてなしの向上
- ⑦効果的な誘客宣伝活動の推進
- ⑧鳥取城跡観光の推進

観光の入れ込み客数は平成22年19,404千人をピークに、平成25年は前年比554千人減となっています。砂の美術館は第1期から第5期までの延べ入館者数は150万人を超え、平成25年は過去最高の555,355人の入場者数となり、鳥取砂丘全体の入場者数を押し上げています。

鳥取砂丘・ジオパーク推進課によると、第8期の来場者が支出した直接効果が59億4千万円、間接効果が59億9千万円で全体の経済効果が119億3千万円となって、前年比プラス7億1千万円だそうですが、来場者数は過去最高は上回らず47万9千人だったそうです。

外国人入れ込み客数については、県の西部と中部を中心に増えています。境港への大型貨客船就航、アジアナ航空、東南アジアを中心としたチャーター便、韓国ドラマロケ地等で倉吉までは順当に増えていますが、東部は全然少ないようです。

今後においても台湾や香港等の旅行会社、航空会社と鳥取県が知事によるトップ営業や提携を行い観光客誘客を図っていますが、やはり鳥取県西部が中心になっていくようです。

東部では鳥取砂丘コナン空港というネーミングライツにより、国内外からの観光客が増えているのは事実ですが、これは一過性のものと思われ、今後東部地区への滞在型観光客を増やすためには滑走路延長や税関の常駐、そしてチャーター便の発着や大型クルーズ客船の鳥取港1号岸壁への誘致促進を行い、鳥取港からの隠岐の島定期就航や山陰道を利用した人的交流、物資流通を促進させていくことが更に必要と思われる。

鳥取市観光白書に次のことが検討とあります。

- ①大型クルーズ客船の入出港に伴う船舶航行安全対策の検討。
- ②クルーズ客船による観光客の受入施設整備。
- ③鳥取港発着ダイクルーズの実施。

続きまして鳥取砂丘撮影の第一人者である太田憲治氏の写真を紹介しますとのことで、スライドで砂丘に因んだ数々の写真の映像ショー。

砂丘にかかった二本の虹。まるで外国の砂漠のような景観。女性が砂丘に佇んでいる風景。パラグライダーと鳥取砂丘と海が交わるコントラストと構図が工夫された鮮やかなショット。この撮影の為にだけに間引きをしないで植えられたラッキョウ畑。ハマヒルガオの郡生。強い風雨の後にできるまるで生物のような砂柱。その他普段見ることができない砂丘の姿を美しく、また幻想的に切り取った写真の数々を紹介。

カニとり県の着ぐるみをまわって、鳥取の観光の現状と今後の対策と方向性。そして、砂丘の美しい写真を紹介された金田会員でした。

次週例会予定

2016年3月4日（金）第1708回例会
卓話 会員スピーチ 葉狩弘一さん

（編集者 木原一志）